

第2学年 道徳（人権）学習指導案

1 主 題 あたたかな ところで

2 主題設定の理由（一部省略）

道徳「ひろみちゃんとゆみちゃん」では、外見や能力に関係なく、互いの違いを認め、必死に取り組んでいる子を前向きに励まし、支え合う友達のよさを考えることができた。道徳「モムンとヘーテ」では、相手の気持ちを考えず自分勝手な行動をとった友達に対し、それでも互いが苦境に立たされたときに友達を助けることを選んだ友情の尊さを考えることができた。

本資料「ええところ」（学研教育出版）は、友達とのかかわりの中で互いのよさを認め合うことの大切さを伝えるのに適した資料である。子どもたちにとって、大人が思うよりもずっと大切に心のよりどころとなるのが「自己肯定感」だ。子どもたちに、自分は世の中や周りの人にとって、なくてはならないかけがえのない存在であると思う気持ちをもたせたい。また、自分の「ええところ」を見つけ出すのと同様に、周りの人の「ええところ」を見つけ出すことで、周りの人も自分と同じようにかけがえのない存在であることに気付かせたい。子どもたち一人一人が、もっと自分に自信をもち、いろいろな個性をもった友達同士、互いに支え合っていけるあたたかい学級集団となってほしいと考え、本主題を設定した。

3 ね ら い

自分自身や友達のよさに気付き、互いに認め合い、支え合っていこうとする態度を育てる。

4 学習計画

（1）これまでの学習

道 徳	「ひろみちゃんとゆみちゃん」（ひかり）	・・・	1 時間
国語科	「友達のこと、知りたいな」	・・・	8 時間
生活科	「うごくおもちゃをつくろう」	・・・	8 時間
道 徳	「モムンとヘーテ」（県資料）	・・・	1 時間

（2）現在の学習

道 徳	「ええところ」（学研教育出版）	・・・	1 時間（本時）
-----	-----------------	-----	----------

（3）これからの学習

生活科	「みんなでつくろうフェスティバル」	・・・	4 時間
-----	-------------------	-----	------

5 本時の学習

(1) 目標

相手のことを考えて、自分自身や友達にはそれぞれよさがあり、互いに認め合おうとする心情を育てる。

(2) 普遍的な学習のテーマ 「個性の尊重」

(3) 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 資料を読み、本時の学習課題をつかむ。	○ 登場人物・状況などをとらえさせ、本時の学習の方向付けをする。
2 「あいちゃん」や「ともちゃん」のよさについて考える。	○ 「あいちゃん」にも「ともちゃん」にもそれぞれよさがあり、互いのよさを大切に思っていることに気付かせる。
3 自分の周りの人のよさを見つける。	○ 自分の周りの人のよさを見つけ、周りの人のよさを見つけられる人もあたたかい心をもっているという意識をもたせる。
4 学習のまとめをし、今後の課題をつかむ。	○ それぞれのよさを認め合い、友達と仲よく協力していこうとする態度を育てる。

(4) 評 価

- 自分自身や友達には、それぞれよさがあることに気付くことができたか。
(知識的側面)
- これからの生活の中で互いに認め合い、協力しようとしているか。
(価値的・態度的側面)
- 自分自身や友達のよさに目を向け、自分の思いを発表することができたか。
(技能的側面)